



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.03.23

No.00695

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：城出鴻二郎

幹 事：横澤啓二

連絡先：TEL 0297-66-3258 FAX 0297-66-3280 <http://rcrc.web5.jp>

事務所：〒301-0032 茨城県龍ヶ崎市松葉 5-12-6

例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【会員卓話 03.23】

「海老原会員」
職業奉仕委員会

次回のプログラム

【会員卓話 03.30】

「馬場会員」
国際奉仕委員会

3月の主な行事：識字率向上月間 3月13日：世界ローターアクトの日（週間）

第 694 回例会報告

点 鐘：城出鴻二郎会長
ロータリーソング：それでこそロータリー
ゲ ス ト：なし
ビ ジ タ ー：なし

会長報告：城出鴻二郎



■先週の山口さんのお話、会報にも出ておりますが耳の痛いお話でした。■さて、ではどうするか、頭の痛い問題と言うより、何かをもう少し力を入れれば出来ることなのですから、ということなのですが、それがなかなかというのが現実でしょうか。まさしく山口節でした。火曜日水戸ロータリークラブの60周年に参加いたしました。例会と、懇親会の2部制で、本来なら昨年か60周年だったのですが、その日の4日前に震災が来たため、中止と言うことで、今年に延期になりました。水戸市内も相当の被害があった関係で、ロータリー活動も大変な1年だったようです。しかし、さすがに茨城県一のクラブですから、行事のいたるところにその貫禄が現れていました。

ロータリーの変貌を毎週ぼやいていますが、年季の入ったクラブならではのロータリーの流れは、ガバナーが誰であろうと揺ぎ無い頑固さと言うか、伝統に裏打ちされた自信と言うか、影響されない磐石の流れがそこにはありました。色々なクラブさんの周年行事を拝見してきましたが、60年の歳月の重みはその年月によってのみ作られていくというような気がいたしました。ベテラン会員と中堅、そして新入り会員全てが穏やかに、優雅にそれぞれの任務をこなしていく姿は、単に責任からではなく、やるべき受け持ちをしっかりと取り掛かっている感がして、

卒なく、無理せず、準備も怠りなく、随所に気遣いの後を感じさせていました。最後の最後まで、出席者名簿や席次の印刷に至るまで、遺漏の無い行き届いた準備は相当の年季と言うかこれも伝統格式を感じさせました。日本一の東京ロータリークラブ会長の弦間さんもスポンサークラブということでご出席で、和歌山ロータリークラブ、敦賀ロータリークラブの友好クラブさんからも、おいでになって、色々とお話をされていました。因みに和歌山ロータリーさんとは徳川御三家、敦賀ロータリーさんは水戸天狗党が敦賀で数百人が処刑された地と言う関係で、敦賀の皆さんが長年に綿照って供養されていたことから、提携されたそうでした。因みに綿山ロータリークラブさんはさらい年75周年と言うことで、そのご紹介されていました。前橋ロータリーさんとも友好クラブを締結されていて、ガバナーノミニーさんもお出席になっていました。一番記憶に残ったのは、この5年間の間になくなられた会員さんの紹介で、平均会員年数が優に40年を超えるということ。概ね80歳を超えての会員歴と言うことでした。何はともあれ、おめでたいことでした。そのような古参会員多い中での当地区のバスター諸氏の影の薄いこと甚だしく、皆さんおとなしくというか、ほろ酔い気分で過ごされていたようです。250名程度の参加、クラブは40クラブぐらいでした。第7分区からは龍ヶ崎さん、水海道さん、守谷さんと龍ヶ崎中央でした。■皆さんにおはかりいたしますが、チャリティーゴルフのご案内が来ております。1つは龍ヶ崎桔梗ライオンズさんのゴルフ、地区大会のゴルフ参加のご案内ですが、若し、ご参加される会員がおいででしたら、お知らせください。登録等処理をいたします。■本日は次年度に付きまして、長友会長エレクトさんからPETSのご報告をいただきます。■再来週は地区大会になります。参加のお願いを申し上げます。

幹事報告：横澤啓二



■ 3月2日の理事会報告をいたします。先週は一部をご案内して残りの部分になります。観桜会は4月に予定通り計画しています。詳細は改めてご案内いたします。

場所は牛久の蓮根屋さんです。

■ また、GSEの30日は例会は予定通りこの場所で開催します。夜間のGSEメンバーの食事も兼ねて計画いたしますので、皆さんご参加の程お願いいたします。

■ 例会変更があります、牛久RCさん19日は休会になります。同様に藤代RCさんも19日例会は休会です。牛久ロータリーさん3月19日例会は定款第6条第1節によって休会になります。

本日のプログラム



■ 国際ロータリー第2820地区P.E.T.S報告
於：ホテルグランド東雲、筑波山神社
2012/03/10-11 会長エレクト 長友芳郎



■ 第2770地区八潮RC 田中作次 RI会長エレクト
RI年度テーマ 「奉仕を通じて平和を」
平和の理解が人それぞれに違うが、自分にとって平和が意味することが平和

■ RI第2820地区 ガバナーエレクト 野堀 喜作 (つくば学園RC)
地区テーマ 「クラブからスタート」 ロータリーの基礎はクラブ、強いクラブ・元気なクラブ作り
筑波山神社



■ 地区研修予定

4/29 (日曜日) 地区協議会 つくば国際会議場
7/29 (日曜日) クラブ奉仕研究会、職業奉仕研究会を合同で行う。水戸三の丸ホテル
8/5 予定 国際奉仕研究会 場所：未定
討論セッション2 地区研修リーダー 山崎清司 PG \$52の陣頭分担金がクラブの人数に関係なく20人分(最低?) 支払うようになる可能性
クラブの財政安定のために3K(会場費、会報作成費、事務員給料)削減会員増強について
RI 事務総長 ジョン・ヒューコ提唱 2012-2015にかけて毎年3%の会員増強をめざすことを提唱しRI理事会にこの案を提出
討論セッション5 職業奉仕 清水清 職業奉仕カウンセラー
スライド 職業奉仕と職業倫理 ロータリー学教本 職業奉仕論 永井靖彦PG 2820地区目標3番目に職業奉仕の研修と強調
討論セッション7 新世代奉仕 廣瀬 PG カウンセラー 危機管理保険 会員一人あたり200円 ガバナー会管理 青少年交換プログラムのみ適用される。RYLAなどは適用外 同行するロータリアンの人格が求められる。酒癖等。
討論セッション3 ロータリー財団 佐藤衛 PG ポリオ寄付 ロータリーの2億ドルチャレンジ (2012年6月末まで)が今年1月で2億ドル突破。ゲイツ・メリンダ財団からさらに5千万ドルの寄付上乘せの申し出。
■ 地区目標
財団寄付 110ドル ポリオ寄付 20ドル 合計130ドル (一人あたり) ベネファクター 1,000\$ (各クラブ一人)
討論セッション8 井上PG 国際奉仕カウンセラー 2013年度から FVP (future vision plan)適用 DDFの使途・ 新地区補助金、グローバル補助金、寄贈ポリオ・プラス- ロータリー平和センター- WF- 災害復興基金- 他地区 詳細は研修会
セッション9 米山記念奨学会 理事 塙PG 大木PG カウンセラー東京米山友愛RCは2010年2月11日に、米山学友を中心とした多国籍の会員が集まった「新世代クラブ」として発足。地区目標寄付 普通寄付5千円 特別寄付2万 合計2万5千円。

2012-13年 度田中作次 RI 会長の運営目標

2820 地区目標



I. ロータリーの重点分野

II. R.I. 戦略計画のビジョン

III. R.I. 戦略計画の中核となる価値観

I. ロータリーの重点分野

- ① 平和と紛争予防 / 紛争解決 Peace and conflict prevention/resolution
- ② 疾病予防と治療 Disease prevention and treatment
- ③ 水と衛生設備 Water and sanitation
- ④ 母子の健康 Maternal and child health
- ⑤ 基本的教育と識字率向上 Basic education and literacy
- ⑥ 経済と地域社会の発展 Economic and community development

II. R.I. 戦略計画のビジョン

- ① クラブのサポートと強化
- ② 人道的奉仕の重点化と増加
- ③ 公共イメージと認知度の向上

III. R.I. 戦略計画の中核となる価値観

奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ

2820 地区テーマ「クラブからのスタート」

2820地区目標

- ① 奉仕を通して平和の具現化
- ② 強いクラブ・元気なクラブを創る（変革と柔軟性を育てる）
- ③ 職業奉仕の研修と強調
- ④ クラブと地区における長期計画の立案
- ⑤ 会員の増強と維持（2015年までに各年3%ずつ増強・特に女性会員の増強を目指す）
- ⑥ 会長賞にチャレンジしよう
- ⑦ ポリオを撲滅する
- ⑧ 未来の夢計画のスタートの為の研修
- ⑨ ロータリーのイメージとブランド認知
- ⑩ 寄附の数値目標
 - 1) ロータリー財団への寄附130ドル
 - 2) ベネファクターを含め、恒久基金 1,000 \$ 以上クラブ 1 名以上
 - 3) 米山記念奨学会へ 25,000円 / 人

新年度のテーマを発表

田中作次国際ロータリー会長エレクト



■1月16日、2012年国際協議会の開会本会議では、例年の通りロータリー加盟国の国旗が紹介されましたが、アルファベット順で紹介される国名の中に「Japan」はありませんでした。すべての国が紹介された後、現国際ロータリー（R1）会長、カルヤン・バネルジー氏の出身国、インドの国旗とともに日の丸が入場しました。R1会長エレクトが日本の田中作次氏だからです。

■国旗入場の後、ロータリーの発祥国アメリカ、現R1会長のインドに続き、君が代が歌われました。この光景に深い感慨を覚えた日本のガバナーエレクトも多かったことでしょう

■開会本会議は、新年度のR1テーマが発表される、国際協議会の中でも特に注目される会議です。田中氏は、ロータリーに入るまでの自分の人生観がとても狭いものであったと述べ、それまでの経験や、ロータリーでの経験について話しました。

そして、「私はある日、推薦を受けて八潮ロータリークラブに入会しました。それから2年後、ある方が例会に来て、職業奉仕についてお話をしてくださったのです。私は、その日から少しずつ変わっていきました。収入や、売り上げを増やすことや、自分の会社をほかの会社よりも良くすることだけでなく、人として、職業人として、もっとよい、もっと高い目的を持って人生を送りたいと思うようになったのです。そしてそのために、ほかの人たちの役に立つことが、私にとって人生で最も大切だと思うようになりました。さらに私は、どんな些細なことでも、人を助けることがいずれば平和につながることに気づきました。『平和』というのはよく耳にする言葉です。ニュースでも、日常会話でも良く聞きますし、ロータリーでも頻繁に口にする言葉ですが、私たちは、『平和』とは何なのか、どういうことなのかを、あまり考えることはありません。一番簡単なのは、『平和』ではない状態がどのようなものを語ることでしょ。つまり、戦争や暴力や恐れることのない状態のことです。飢餓や、弾圧や、貧困を恐れることのない状態です。また逆に、『平和』を、それが何であるか、どういう可能性を秘めているのかで定義することもできます。そういう意味では『平和』は、発言と選択の自由であり、自己決定の権利であ

ると定義できます。安全で安心できる未来を意味し、安定した社会での人生と家庭を意味するとも言えます。そしてもっと抽象的に言うと、『平和』とは幸福感や心の平穩、静けさであるとも言えます。ですから、『平和』が何を意味しているのかは、人によって違うのです。どの定義が正しいとか、間違っているとかということではなく、自分にとって『平和』が意味すること、それがまさに平和なのです」と、平和について語りました。

そして、「ロータリアンは、自分よりも、ほかの人のニーズを重視します。自分のためだけではなく、社会全体のためを考えます。『超私の奉仕』という言葉は、人生で本当に大切なこと、エネルギーを注ぐべきことは何なのかを、私たちに教えてくれる言葉です。そうすることで、より平和な世界の基盤を築くことができると考えます。そこで私は、2012-13年度のロータリーのテーマを、『奉仕を通じて平和を』といたしました。それは、『平和』をどのように定義するにしても、私たちは奉仕を通じて、平和をもっと現実に近づけることができるからです」と、2012-13年度のR1テーマを発表しました。（友）

本日出席状況

会 員	20 名	出席率	55.00 %
出 席 者	8 名		
出席免除者	2 名	Make-up	3 名
(定款第9条3節a)	1 名	米島、小林、荒木会員	

ニコニコボックス（目標額 600,000 円）

本日 3 件 6,000 円（本年度累計 344,000 円）

川上会員：花粉症のない国へ行きたい。

海老原会員：地すべりはこわい。

横山会員：春めいてきました今日この頃です。

ロータリー豆知識

《 S・A・A 》（亀尾会員）

S・A・A とは、「Sergeant at Arms」の略で、これは元来英国の王室と議院での慣用語として、「守衛官」を意味している。しかし日本で「守衛」というと、一般的に警備の意味を持ち、警備は、警戒する、用心する、ということからロータリークラブが、この言葉をもちいる場合には、例会をはじめすべての会議が、楽しく、秩序正しく運営されるよう、常に心を配るというニュアンスが含まれている。

実際には、S・A・A は「会場監督」と呼ばれ、会長・幹事と並んでクラブ役員である。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに川上副 SAA TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。